

平成 24 年度 事業報告

1. 事業概要

少子高齢化の進展に伴い、多様な働き方や社会活動を希望する元気な高齢者が益々増加すると推測される中、シルバー人材センターの果たす役割が益々増大するとともに、センターに対し地域からも大きく期待されています。

平成 24 年度は、国庫補助の減少に伴い、厳しい運営状況の中事業拡大に向け進めてまいりました。

このような中、今年度の実績は昨年度に比べ、「△674,669 円」の減少となりましたが、会員の就業能力の向上、ボランティアの実施等による社会参加活動に積極的に推進してまいりました。今後も「自主・自立・共働・共助」のもと、尚一層事業発展のため努力を続けていきたいと思っております。

以下、平成 24 年度の事業実績報告とさせていただきます。

3 月末現在

	平成 24 年度 目標値	平成 24 年度 実績	前年度(23) 実績	比較 (対前年度)
会員数	300 人	225 人	201 人	24 人
就業率	90%	83.6%	83.5%	0.1%
契約金額	60,000,000 円	60,079,381 円	60,754,050 円	△674,669 円
就業延人日数	10,000 人日	11,293 人日	11,315 人日	△22 人日

※市人口：61,593 人 60 歳以上：15,180 人 比率：24.6%

2. 事業実施報告

(1) 就業機会の開拓及び会員獲得の拡大

- ① 「受注契約 6,000 万円」、「就業延人日 10,000 人日」、「就業率 90%」を目標に掲げ、就業機会の開拓及び就業率の向上に努めてまいりました。

実績：上記表のとおり。

- ② 就業機会開拓員を配置し、行政機関及び民間事業所等を訪問し、会員の就業機会の確保に努めてまいりました。

実績：開拓員活動回数 20 回

- ③ 「会員数 300 人」を目標に掲げ、毎月入会説明会を実施し、会員の拡大を図るとともに、特に女性会員の拡大に向け努めてまいりました。しかしながら、女性の入会が少なく、今後とも拡大に向け取り組む必要がある。

実績：会員数 上記表のとおり。

女性会員 38 人(約 17%) ※前年度 31 人(約 15%)

(2) 普及啓発活動の推進

- ① 市広報誌への掲載及び宣伝用チラシの配布等で市民に対しセンター事業についての理解と浸透に努めてまいりました。

実績：市広報誌(市民のひろば)への掲載2回・チラシ等配布

- ② 全国シルバー普及啓発促進月間(10月)中において、横断幕の設置、会員、役職員自らチラシを配布するなど、積極的に取り組んでまいりました。

実績(期間中)：ボランティア(21世紀ビーチクリーン活動)

交流グランドゴルフ大会・チラシ等配布

- ③ ボランティア活動を実施し、センターの普及啓発に努めてまいりました。

実績：21世紀モデル花壇の除草等・さくら祭り会場の清掃

(3) 安全・適正就業対策の推進

- ① 安全就業基準を遵守するとともに、会員の健康維持と会員の安全、適正就業の周知を図ってまいりました。

- ② 安全・適正就業委員会による就業現場指導、安全就業推進員による就業現場への巡回指導を実施し、安全用具着用の励行と就業中及び出勤帰宅時の事故防止等安全意識の高揚に努めてまいりました。

実績：安全・適正就業委員会の開催2回

安全・適正就業委員会による就業現場指導1回

安全就業推進員による就業現場指導12回

普通救命法講習会2回

(4) 会員の知識、技術、技能講習の実施

就業に即した技術・技能講習、研修を実施し、会員の技術・技能の向上と就業機会の拡大に努めてまいりました。

実績：刈払機・チェーンソー取扱い講習1回

先進地研修(福祉・家事援助サービス)1回

(5) 無料職業紹介事業の実施

雇用による就業を希望する会員及び高齢者を対象に、無料の職業紹介事業を実施いたしました。

実績：3件

(6) 独自事業の実施

- ① 会員の知識と経験を生かし、会員が独自の創意と工夫により企画し、会員の仕事場を広げるために、市及び関係団体と連携し、独自事業を実施するものである。センター独自の事業を実施いたしました。

実績：三味線教室

(7) 福利厚生事業の推進

会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、グランドゴルフ大会や

新春の集いなどを実施し、会員の交流を深めました。

(8) 運営体制の強化及び財政基盤の確立

- ① 運営体制を強化するため理事会活動充実を図ってまいりました。

実績：理事会開催 10 回

グランドゴルフ大会、新春のつどい、ボランティア活動などへの参加

- ② 会員参画型運営を確立するため、地域班及び職群班の強化に努めてまいりました。

実績：地域班会 1 回・地域班長会議 2 回・職群班会議 随時

- ③ 事業運営の促進を図るためには事務局の体制が重要であります。昨年度同様 4 名体制で事業運営の促進を図ってまいりました。

- ④ 総会、新春のつどい等を通じ理事会と会員の連携を図ってまいりました。

- ⑤ 厳しい財政状況の中、会員及び役職員が一体となって事業の拡大、会員の増、事務費等の自主財源の確保に努めてまいりました。

(9) 公益社団法人移行への取組

25 年度移行に向けて取組んでまいりました。今年 4 月 1 日より「公益社団法人」としてスタートすることになります。